

令和元年度大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会の開催状況について

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。

第24回 大阪市精神保健福祉審議会 自殺防止対策部会

実施予定日：令和2年3月23日（月）14時00分～16時00分

場 所：大阪市こころの健康センター 大会議室

議 題：（1）平成30年中における大阪市の自殺の状況について
（2）令和元年度の自殺対策の実施状況について
（3）令和2年度の自殺対策の取り組みについて
（4）その他

委員名簿（令和2年3月23日現在）

部会長	大藤 さとこ	大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学 准教授
部会委員	恵口 政男	（特非）国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター 所長
部会委員	甲斐 利弘	大阪市立総合医療センター 精神神経科部長
部会委員	佐田 康典	大阪司法書士会 市民権利擁護委員会委員長
部会委員	澤 温	（一社）大阪精神科病院協会 理事
部会委員	堤 俊仁	（公社）大阪精神科診療所協会 会長
部会委員	林 和子	自死遺族代表
部会委員	藤井 美和	関西学院大学 人間福祉学部人間科学科 教授
部会委員	前久保 邦昭	（一社）大阪府医師会
部会委員	森岡 学	（独）労働者健康安全機構大阪産業保健総合支援センター 副所長
部会委員	八尾 和彦	（社福）関西いのちの電話 事務局長

大阪市の自殺の状況：その推移と平成 30 年の現況

大阪市の自殺の状況：その推移と平成30年の現況 目次

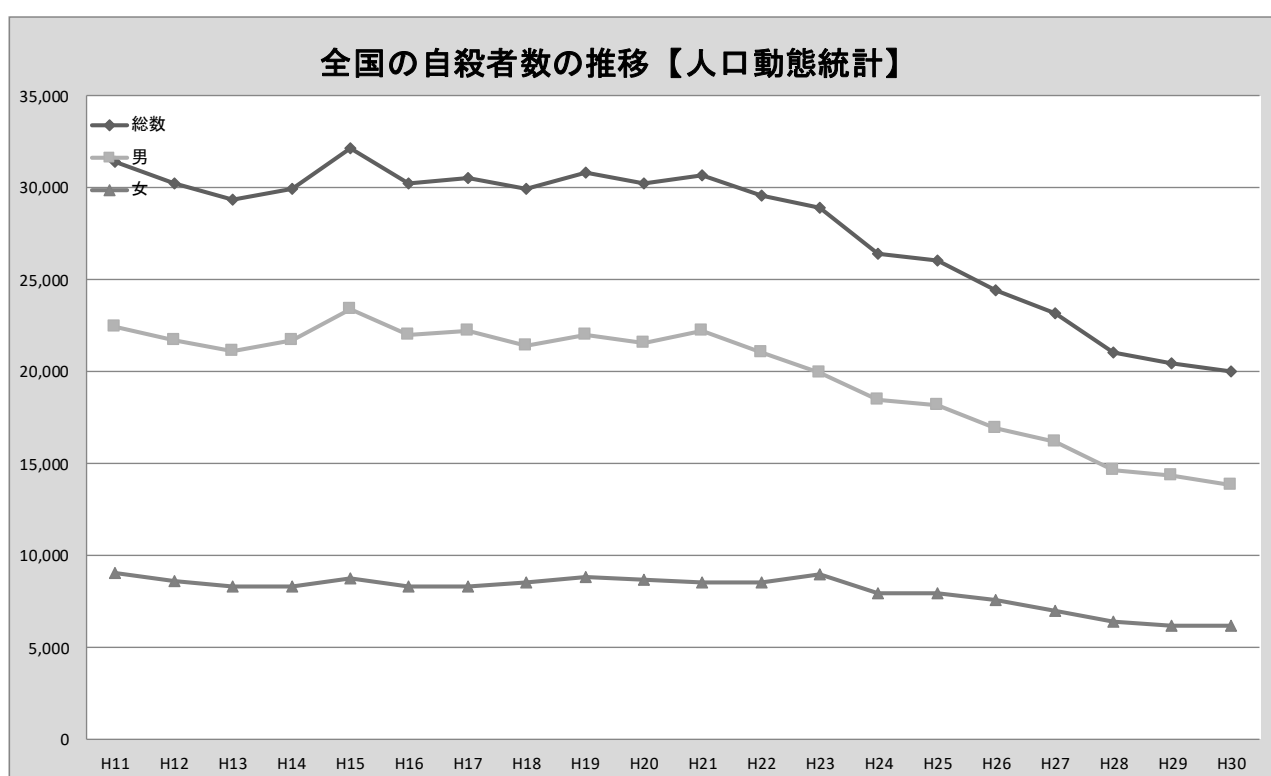
1. 全国の自殺者数の推移(人口動態統計：H11～H30)	1	ページ
2. 全国の自殺死亡率の推移(人口動態統計：H11～H30)	2	ページ
3. 大阪市の自殺者数の推移(人口動態統計：H11～H30)	3	ページ
4. 大阪市の自殺死亡率の推移(人口動態統計：H11～H30)	4	ページ
5. 年齢別・男女別自殺者数(内閣府・警察庁統計)	5	ページ
6. 原因別・男女別自殺者数(内閣府・警察庁統計)	6	ページ
7. 職業別・男女別自殺者数(内閣府・警察庁統計)	7	ページ
8. 既遂者における自殺未遂の有無・男女別自殺者数(内閣府・警察庁統計)	8	ページ
9. 同居人の有無・男女別自殺者数(内閣府・警察庁統計)	9	ページ
10. 場所別・男女別自殺者数(内閣府・警察庁統計)	10	ページ
11. 手段別・男女別自殺者数(内閣府・警察庁統計)	11	ページ
12. 曜日別・男女別自殺者数(内閣府・警察庁統計)	12	ページ
13. 発見時間帯別・男女別自殺者数(内閣府・警察庁統計)	13	ページ

1. 全国の自殺者数の推移（人口動態統計：H11～H30）

男女総計：自殺死亡者数は、昭和 55 年（1980 年）以降概ね年間 2 万人から 2 万 5 千人の間で推移していたが、平成 10 年（1998 年）に急増し、戦後初めて 3 万人（31,755 人）を超えた。その後も増減しながら平成 21 年までは概ね年間 3 万人前後で推移し、平成 23 年以降は減少傾向を維持している。平成 27 年に急増前の平成 9 年を下回るまで減少し、その後も減少を続けている。

男性：平成 10 年以降では、男性の自殺死亡数は女性のほぼ 2～3 倍で推移しており、男女総計の自殺死亡の傾向は男性の傾向とほぼ同様となっている。

女性：平成 10 年に 9 千人台に増加したが、平成 12 年以降は 8 千人台で推移し、男性と同様に平成 23 年以降は一貫して減少傾向を維持しており、平成 27 年以降は急増前の平成 9 年の 7 千人台を下回る 6 千人台まで減少している。



全国の自殺者数の推移

年次別	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
総数	31,413	30,251	29,375	29,949	32,109	30,247	30,553	29,921	30,827	30,229	30,707	29,554	28,896	26,433	26,063	24,417	23,152	21,017	20,465	20,031
男	22,402	21,656	21,085	21,677	23,396	21,955	22,236	21,419	22,007	21,546	22,189	21,028	19,904	18,485	18,158	16,875	16,202	14,639	14,333	13,851
女	9,011	8,595	8,290	8,272	8,713	8,292	8,317	8,502	8,820	8,683	8,518	8,526	8,992	7,948	7,905	7,542	6,950	6,378	6,132	6,180

資料：「人口動態統計」より

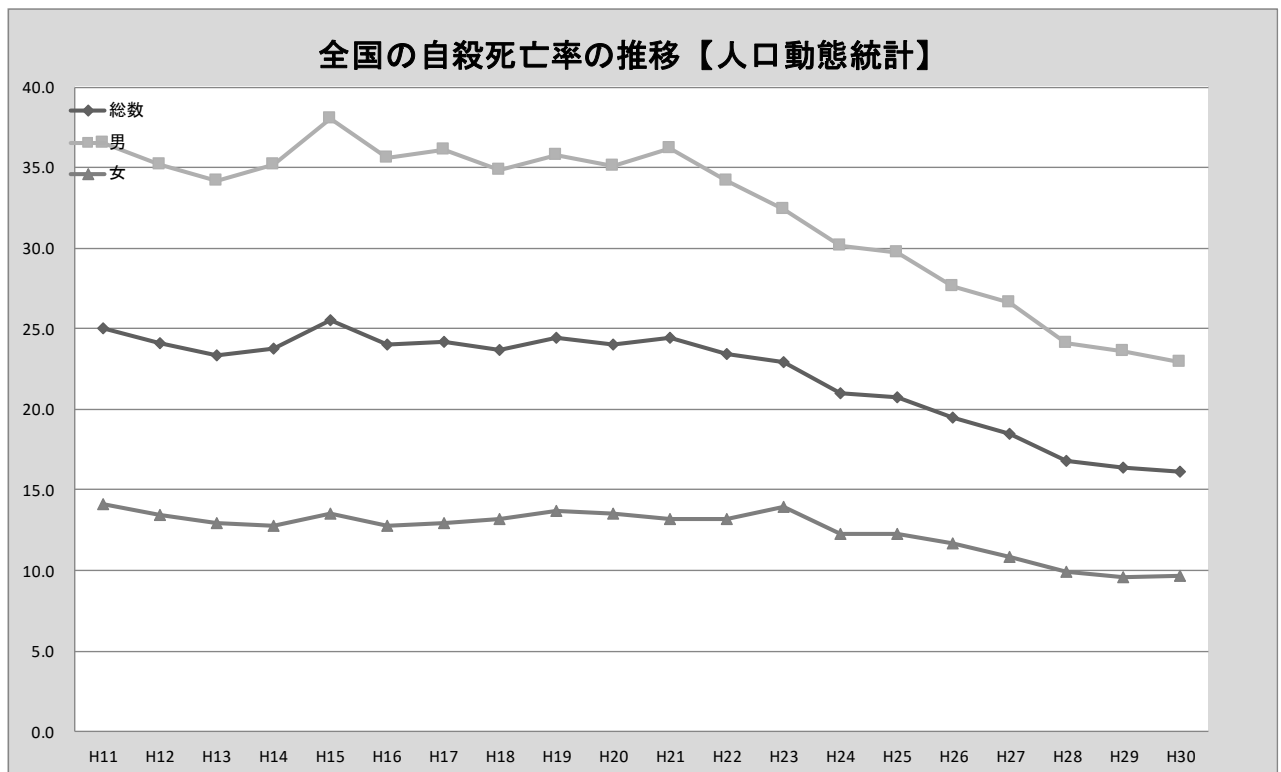
2. 全国の自殺死亡率の推移（人口動態統計：H11～H30）

男女総計：傾向は自殺死亡者数と同様であり、昭和 55 年（1980 年）以降は増加した年でも人口 10 万人当たり（以下単位同様）22 未満で推移していたが、平成 10 年（1998 年）に急増し（25.4）、その後増減しながら平成 22 年までは概ね 23～24 台で推移し、平成 23 年以降は減少傾向を維持している。平成 27 年に急増前の平成 9 年（18.8）を下回るまで減少しその後も減少が続いている。

平成 11 年から平成 30 年の減少率は 35.6%となっている。

男性：平成 10 年以降では、男性の自殺死亡率は女性のほぼ 2～3 倍で推移しており、男女総計の自殺死亡率の傾向は男性のそれとほぼ同様となっている。平成 10 年から平成 29 年の減少率は 35%となっている。

女性：平成 10 年に増加したものの、平成 12 年以降は 12～13 台で推移し、男性と同様に平成 23 年以降は減少傾向を維持しており、平成 26 年以降は急増前の平成 9 年（11.9）を下回り平成 28 年以降は一桁台を維持している。平成 11 年から平成 30 年の減少率は 31%となっている。



全国の自殺死亡率の推移

年次別	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
総数	25.0	24.1	23.3	23.8	25.5	24.0	24.2	23.7	24.4	24.0	24.4	23.4	22.9	21.0	20.7	19.5	18.5	16.8	16.4	16.1
男	36.5	35.2	34.2	35.2	38.0	35.6	36.1	34.8	35.8	35.1	36.2	34.2	32.4	30.1	29.7	27.6	26.6	24.1	23.6	22.9
女	14.1	13.4	12.9	12.8	13.5	12.8	12.9	13.2	13.7	13.5	13.2	13.2	13.9	12.3	12.3	11.7	10.8	9.9	9.6	9.7

資料：「人口動態統計」より

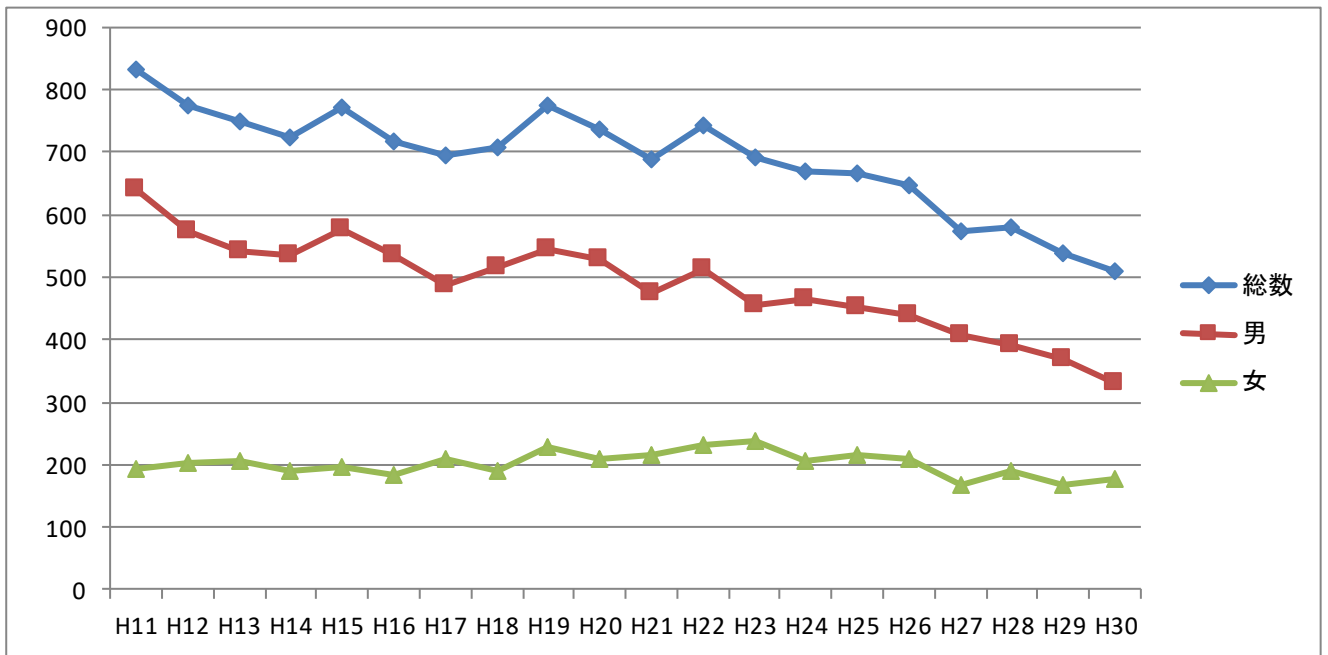
3. 大阪市の自殺者数の推移（人口動態統計：H11～H30）

男女総計：全国の傾向と同様に、平成9年の525人から平成10年に年間876人と急増したが、平成11年から全国に先駆けて減少し始めた。その後、全国の自殺死亡数は平成21年まではほぼ横ばいであったのに対して、大阪市の自殺死亡数は平成17年には、一旦年間700人を下回り、その後微増と微減を繰り返しながら、平成22年まではほぼ横ばいに経過した。平成23年以降は、全国値の傾向と同様に減少傾向を維持し700人未満となり、平成30年は急増する前の平成9年を下回った。

男性：男女総計とほぼ同様の傾向となっている。

女性：平成9年から平成10年に増加したものの、以降は200人前後の横ばいで推移していた。平成17年からは増加傾向に転じ、平成23年までは230人台となる年も続いた。平成27年以降は200人未満で増減している。

大阪市の自殺者数の推移（人口動態統計）



自殺者数の推移

年次別	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
総数	832	776	748	724	773	719	696	708	776	738	688	744	691	671	667	647	573	580	537	509
男	640	574	543	535	578	535	486	517	546	529	473	512	454	464	452	439	406	391	369	332
女	192	202	205	189	195	184	210	191	230	209	215	232	237	207	215	208	167	189	168	177

資料：「人口動態統計」より

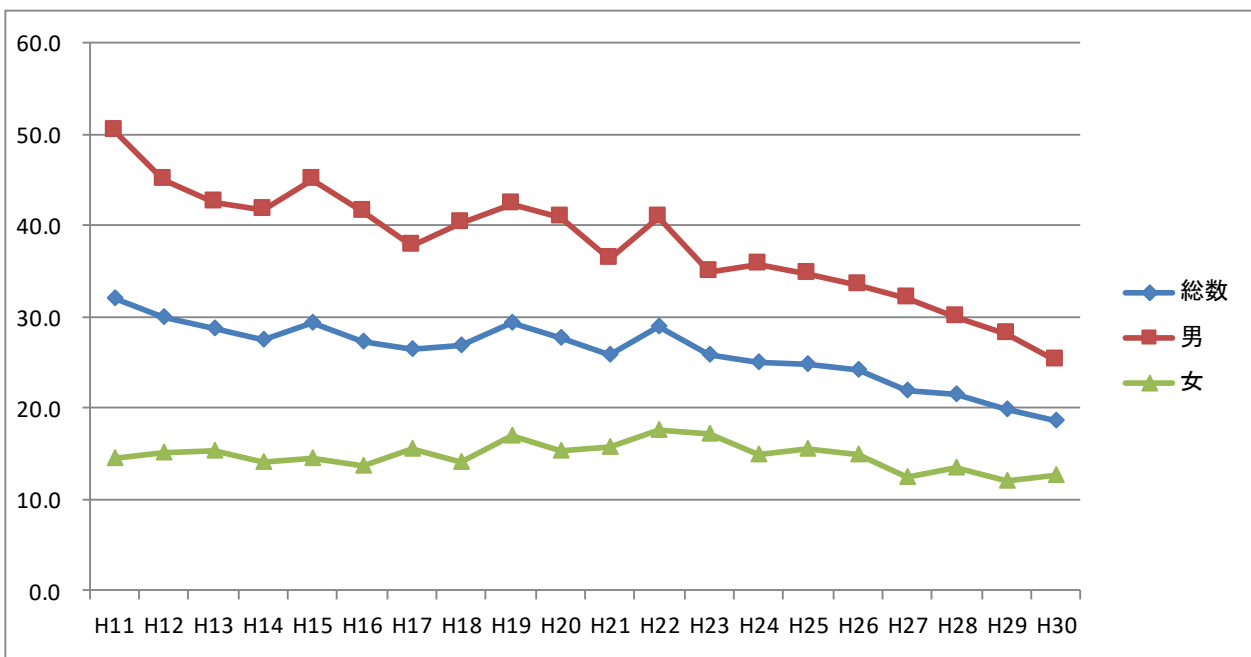
4. 大阪市の自殺死亡率の推移（人口動態統計：H11～H30）

男女総計：全国の傾向と同様に平成10年に急増したが、平成12年から全国に先駆けて減少し始めた。その後、全国の自殺死亡率は平成21年まで微減であったのに対して、大阪市の自殺死亡率は平成17年には、平成10年の値の20%減少となった。その後微増と微減を繰り返しながら、平成22年まではほぼ横ばいに経過したが、平成23年以降は、全国値の傾向と同様に減少傾向を維持し平成29年には、急増前の平成9年よりも低い19.8となっている。また、平成10年から平成30年の減少率は44.5%となっている。

男性：男女総計とほぼ同様の傾向となっている。

女性：自殺死亡数と同様である。

大阪市の自殺死亡率の推移(人口動態統計)



自覚死亡率の推移

年次別	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
総数	32.1	29.9	28.7	27.6	29.4	27.3	26.5	26.8	29.3	27.8	25.8	29.0	25.9	25.1	24.9	24.1	22.0	21.5	19.8	18.7
男	50.3	45.1	42.5	41.8	45.0	41.6	37.9	40.3	42.4	40.9	36.4	41.0	35.0	35.7	34.7	33.5	32.1	29.9	28.1	25.2
女	14.5	15.2	15.4	14.1	14.5	13.6	15.6	14.1	16.9	15.4	15.8	17.6	17.2	15.0	15.6	15.0	12.4	13.5	12.0	12.6

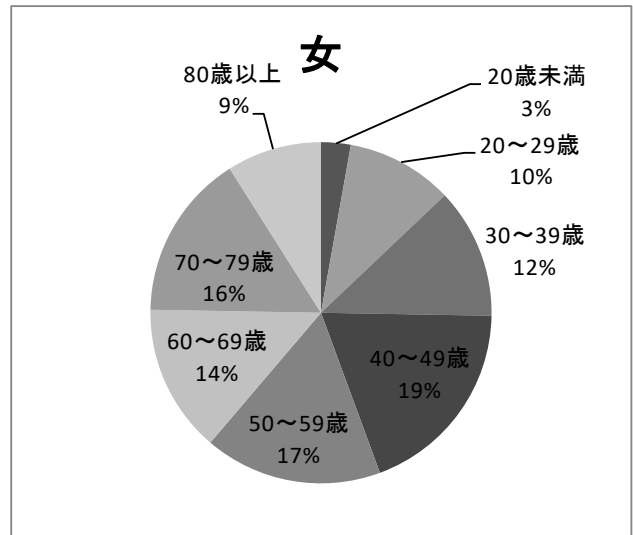
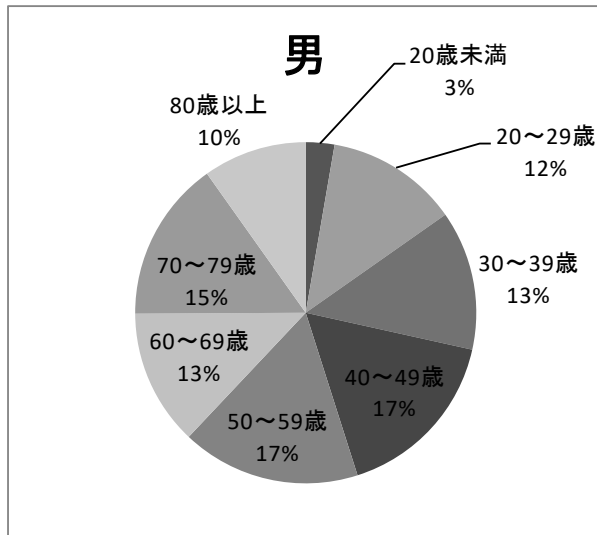
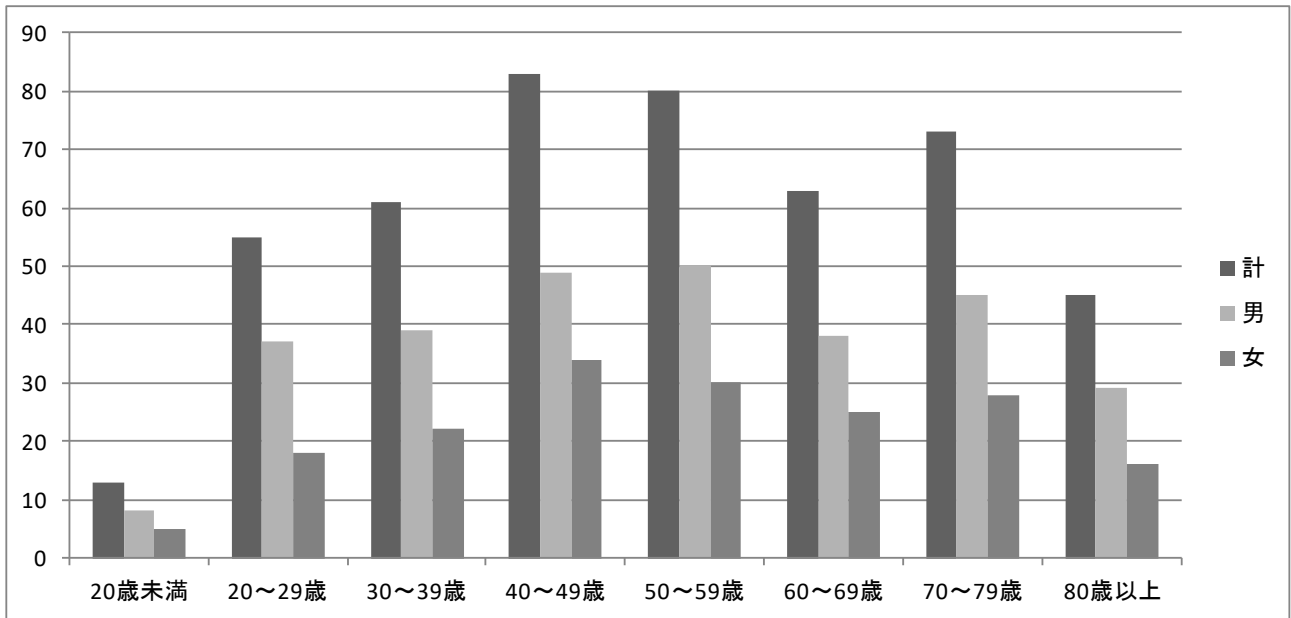
資料:「人口動態統計」より

5. 年齢別・男女別自殺者数（内閣府・警察庁統計）

平成30年の本市の自殺者数473人（男性295人（62%）、女性178人（38%））を年齢別にみると、40歳代が最も多く83人（17.5%）、ついで50歳代80人（16.9%）、70歳代73人（15.4%）となっている。

男女別でも、40歳代、50歳代、70歳代が多くなっている。

平成30年 年齢別・男女別の自殺者数（内閣府・警察庁統計）



年齢別男女別

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
計	13	55	61	83	80	63	73	45	473
男	8	37	39	49	50	38	45	29	295
女	5	18	22	34	30	25	28	16	178

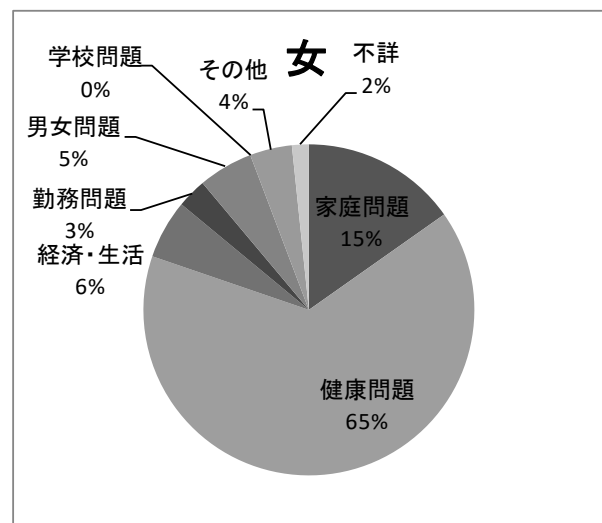
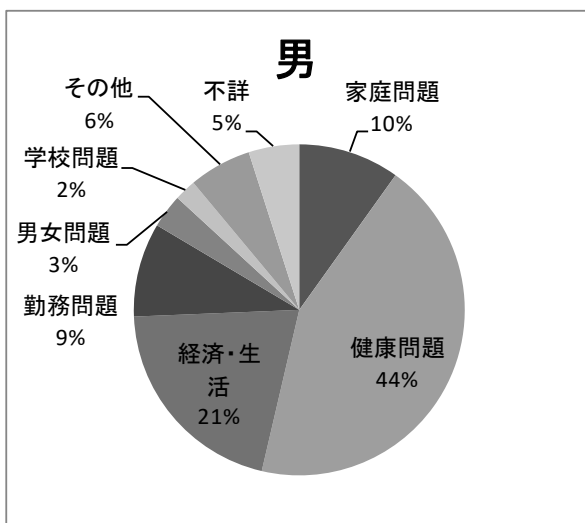
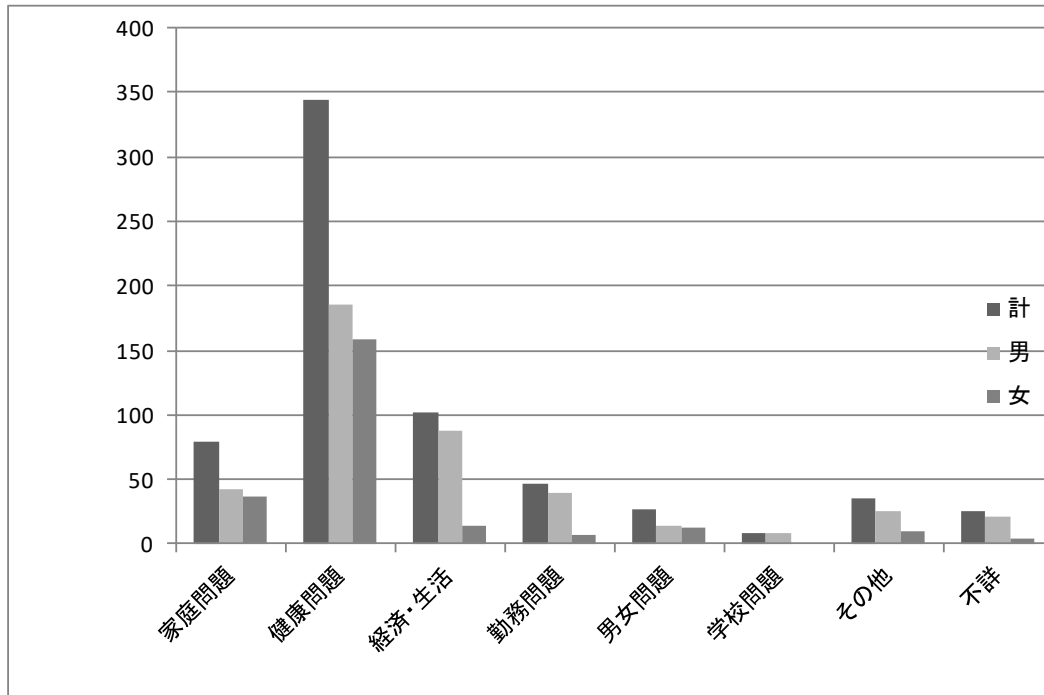
6. 原因別・男女別自殺者数（内閣府・警察庁統計）

（遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を、自殺者一人につき3つまで計上可能として警察庁が集計した結果）

自殺の原因・動機としては、「健康問題」が51%と最も多く、次いで「経済・生活問題」（15%）、「家庭問題」（12%）となっている。

男女別で見ると、男女とも「健康問題」が一番多かったが、女性はその割合が65%と男性の44%より大きくなっている。次に男性は「経済・生活問題」が多いのに対し、女性は「家庭問題」が多くなっている。

平成30年 原因別・男女別（内閣府・警察庁統計）



原因別・男女別

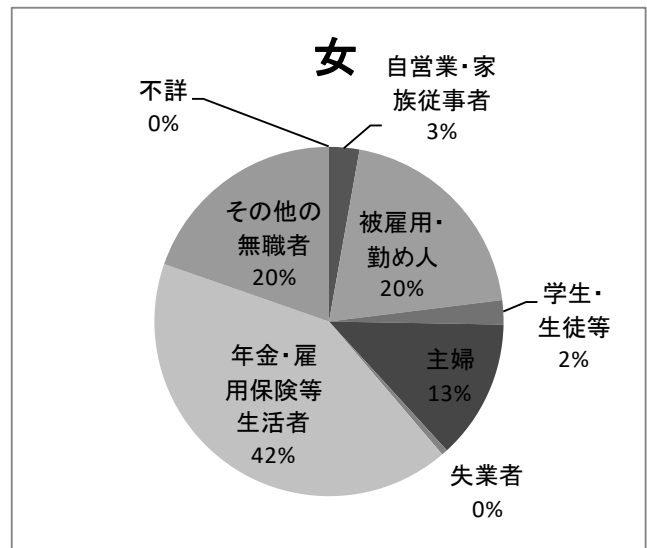
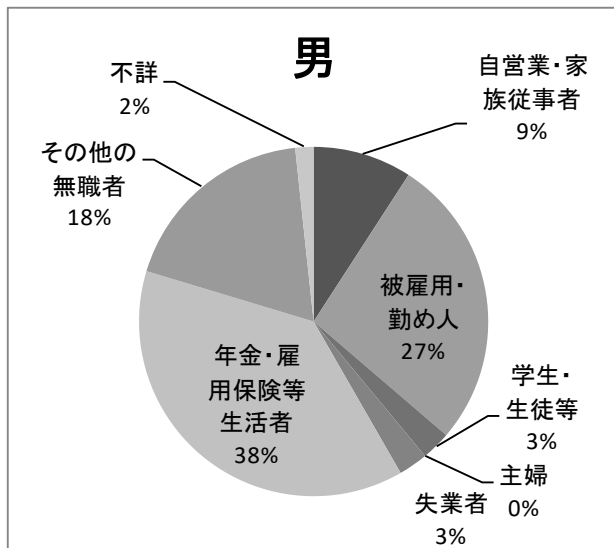
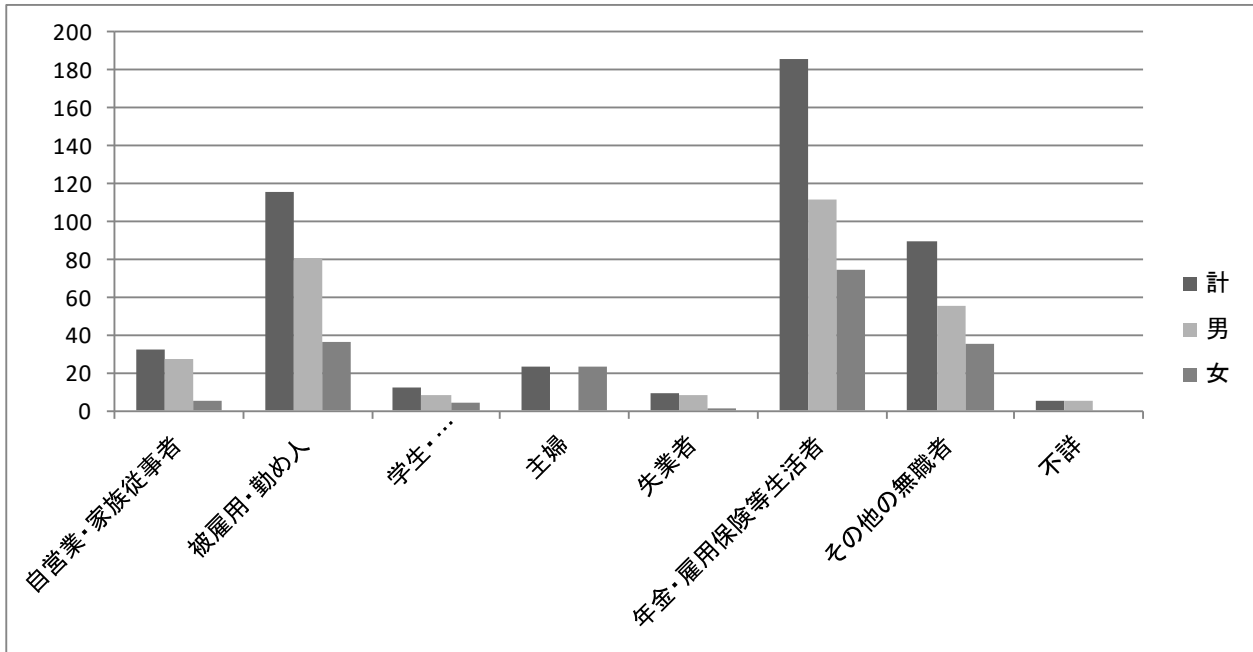
原因	家庭問題	健康問題	経済・生活	勤務問題	男女問題	学校問題	その他	不詳	計
計	79	344	102	46	27	9	36	25	668
男	42	186	88	39	14	9	26	21	425
女	37	158	14	7	13	0	10	4	243

7. 職業別・男女別自殺者数（内閣府・警察庁統計）

職業別で見ると「年金・雇用保険等生活者」が186人（39%）と最も多く、次いで「被雇用者・勤め人」が116人（25%）、「その他の無職者」90人（19%）となっている。

男女別では、男女とも「年金・雇用保険等生活者」の割合が最も多く、男性は次いで「被雇用者・勤め人」、「その他の無職者」の順となっているが、女性は「被雇用者・勤め人」、「その他の無職者」がほぼ同数となっている。

平成30年 職業別・男女別（内閣府・警察庁統計）



職業別・男女別

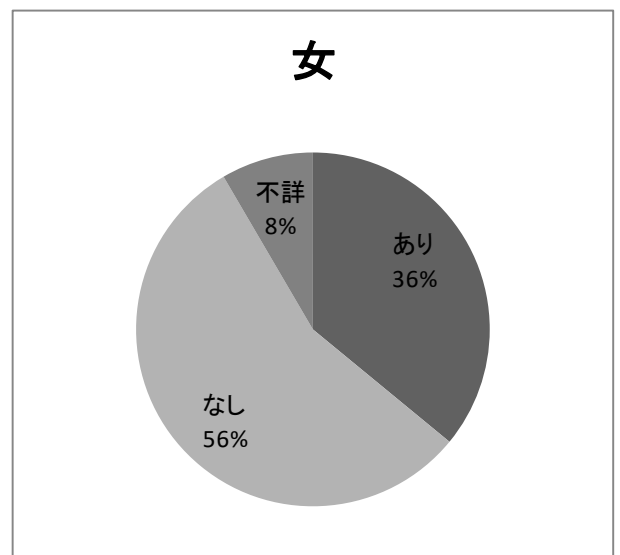
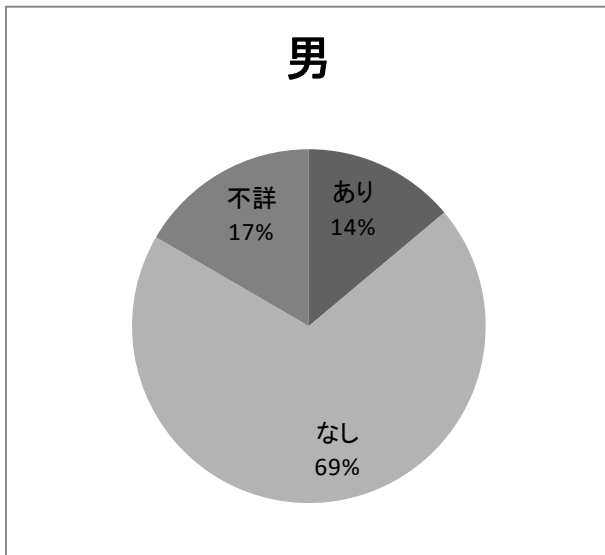
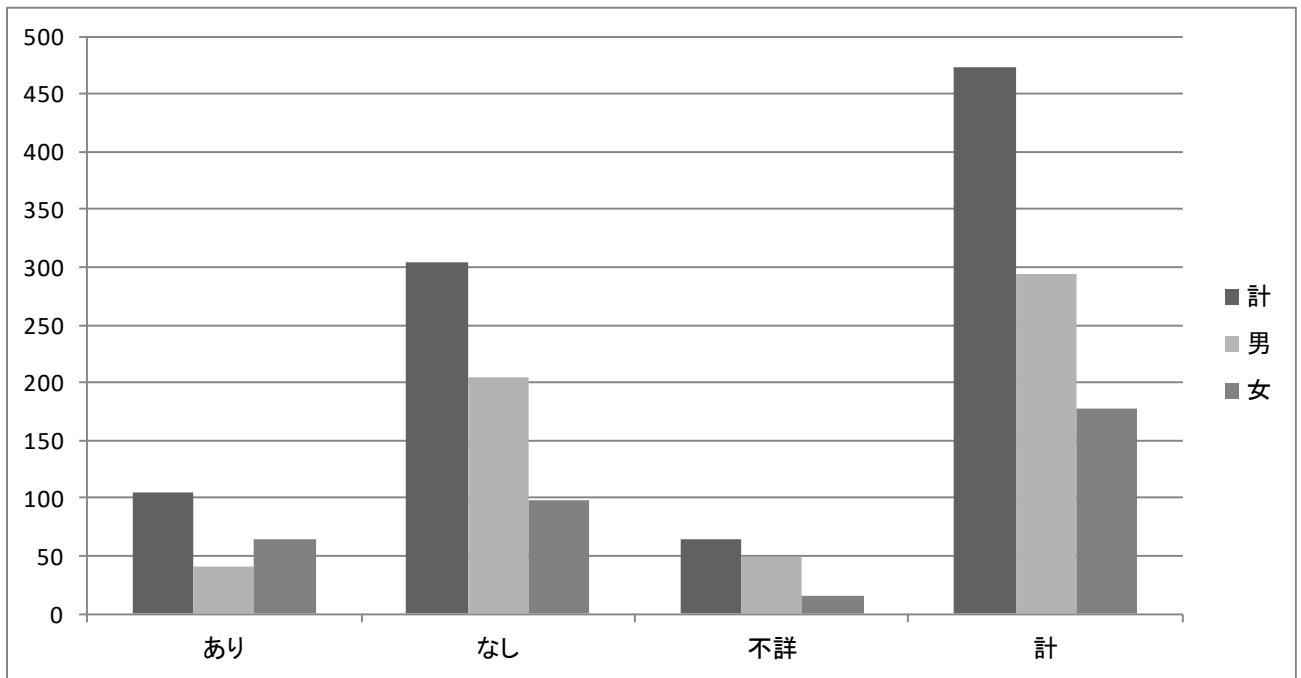
職業	自営業・家族従事者	被雇用・勤め人	学生・生徒等	主婦	失業者	年金・雇用保険等生活者	その他の無職者	不詳	計
計	32	116	12	23	9	186	90	5	473
男	27	80	8	0	8	112	55	5	295
女	5	36	4	23	1	74	35	0	178

8. 既遂者における自殺未遂の有無・男女別自殺者数（内閣府・警察庁統計）

既遂者における自殺未遂の有無別で見ると、「未遂なし」が304人(64.2%)、「未遂あり」105人(22.2%)となっている。

男女別で見ると男性では自殺未遂歴「なし」が69%（全国値66%）、「あり」が14%（全国値14%）、女性では自殺未遂歴「なし」が56%（全国値56%）、「あり」が36%（全国値30%）となっている。

平成30年 既遂者における自殺未遂の有無・男女別（内閣府・警察庁統計）



既遂者における自殺未遂の有無・男女別

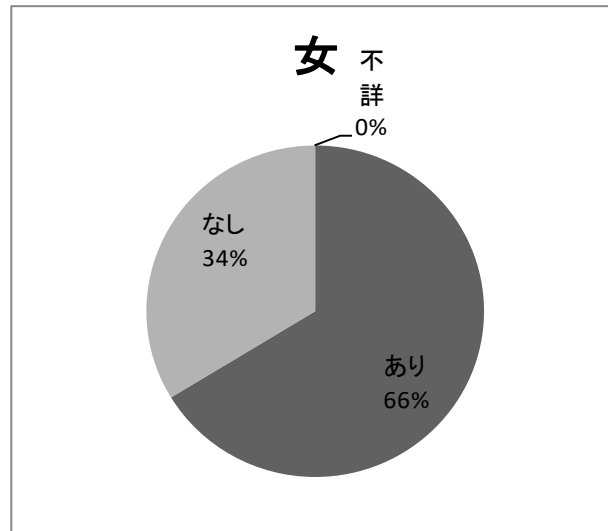
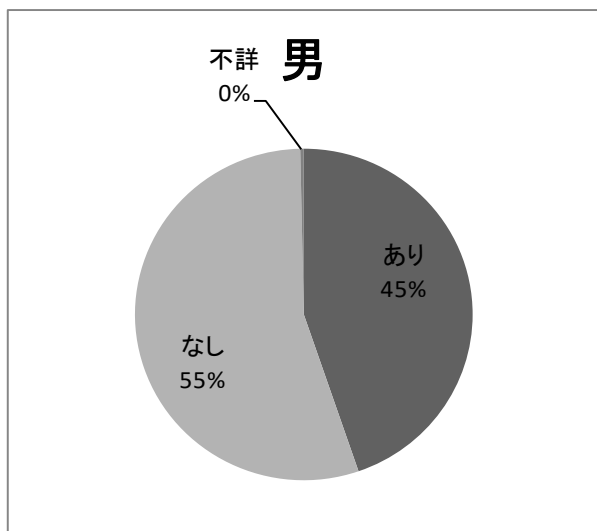
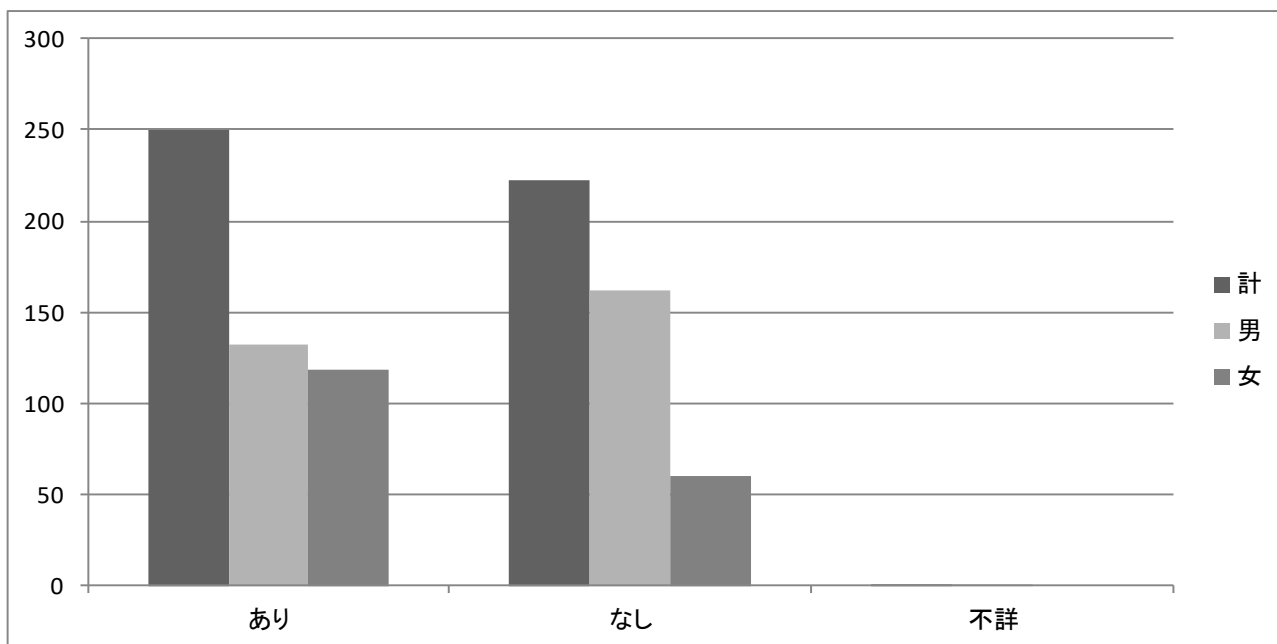
自殺未遂	あり	なし	不詳	計
計	105	304	64	473
男	41	205	49	295
女	64	99	15	178

9. 同居人の有無・男女別自殺者数（内閣府・警察庁統計）

同居人の有無別で見ると、「同居人あり」が250人（52.8%）、「同居人なし」が222人（46.9%）となっている。

男女別で見ると、全国では男女とも「同居人あり」が「同居人なし」より約2倍多くなっているが、本市においては男性において「同居人なし」の方が多くなっている。

平成30年 同居人の有無・男女別（内閣府・警察庁統計）



同居人の有無・男女別

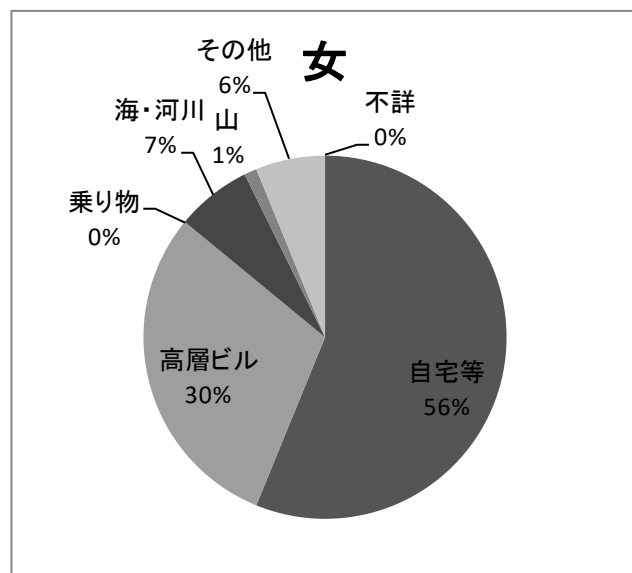
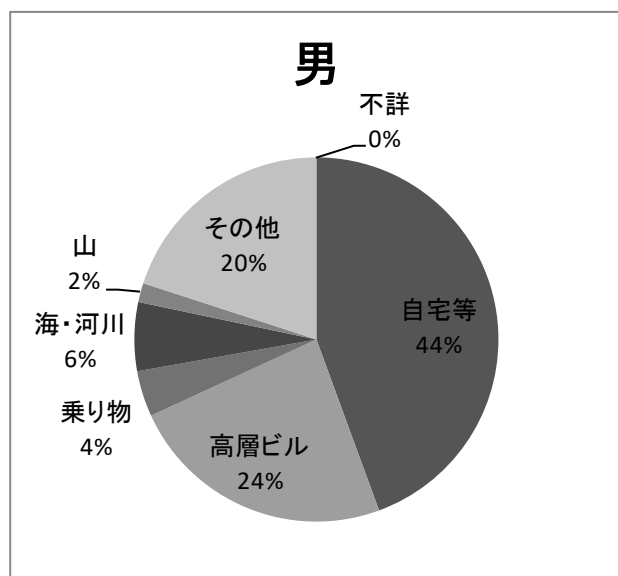
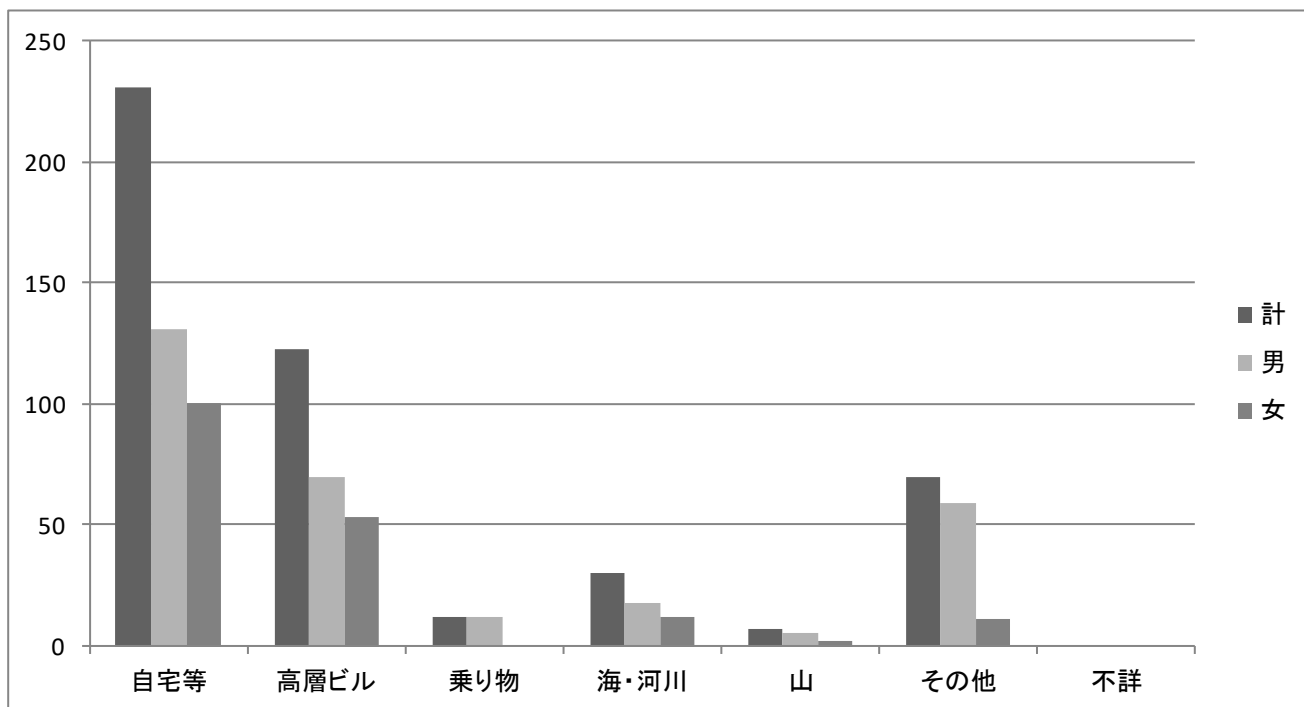
同居人	あり	なし	不詳	計
計	250	222	1	473
男	132	162	1	295
女	118	60	0	178

10. 場所別・男女別自殺者数（内閣府・警察庁統計）

場所別で見ると、男女ともに「自宅等」が最も多く、次いで「高層ビル」、「海（湖）・河川」となっている。

同様の順であるが、男性では次いで「乗り物」、「山」での発生がみられる。

平成30年 場所別・男女別自殺者数（内閣府・警察庁統計）



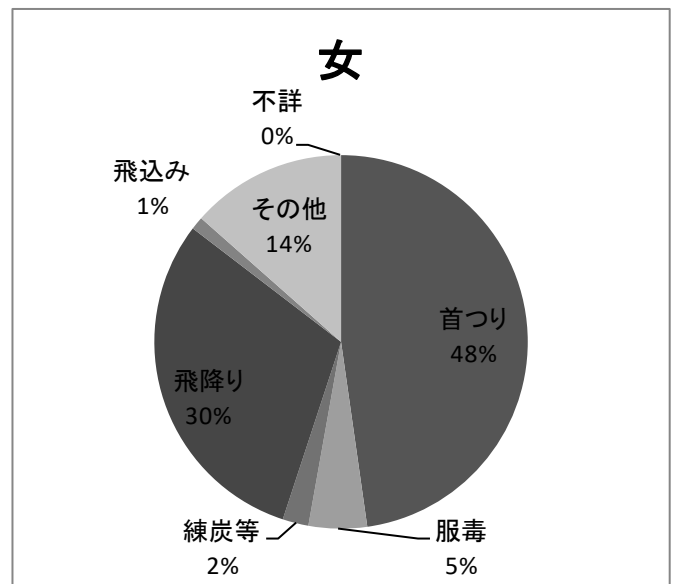
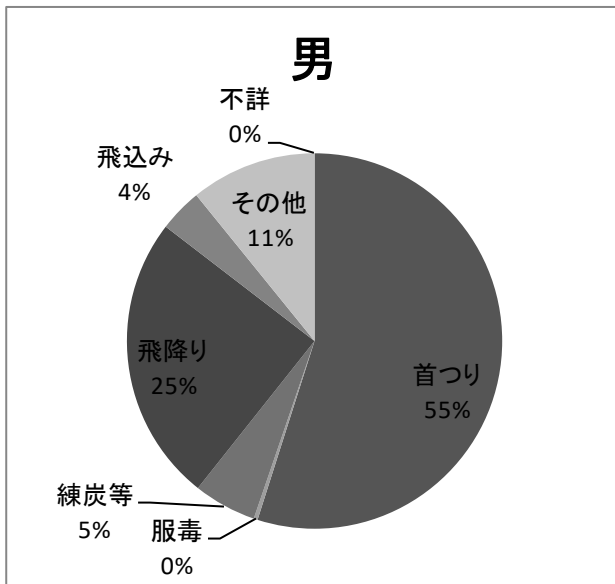
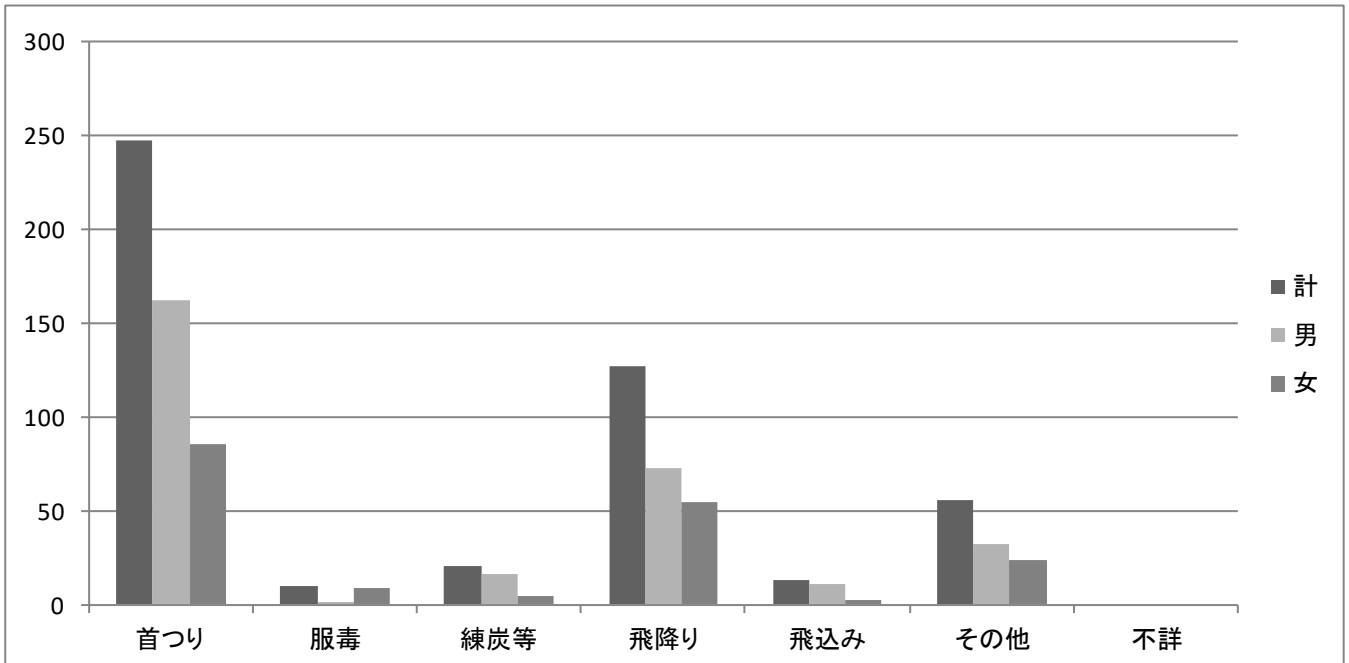
場所別・男女別自殺者数

場所	自宅等	高層ビル	乗り物	海・河川	山	その他	不詳	計
計	231	123	12	30	7	70	0	473
男	131	70	12	18	5	59	0	295
女	100	53	0	12	2	11	0	178

11. 手段別・男女別自殺者数（内閣府・警察庁統計）

手段別で見ると、「首つり」が最も多く、次いで「飛降り」となっている。
男女別でも同様となっている。

平成30年 手段別・男女別自殺者数（内閣府・警察庁統計）



手段別・男女別自殺者数

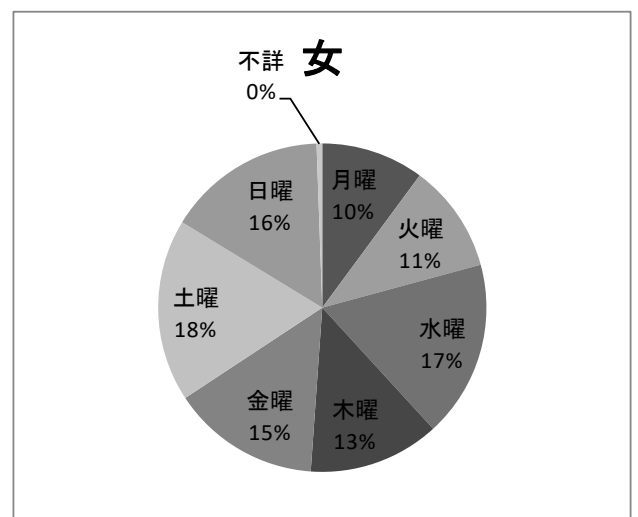
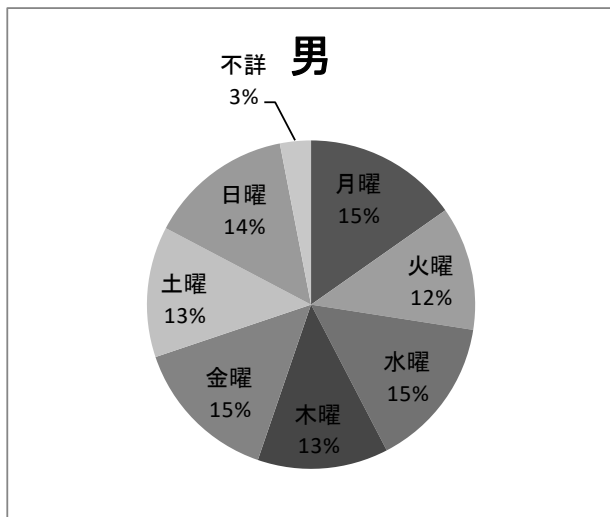
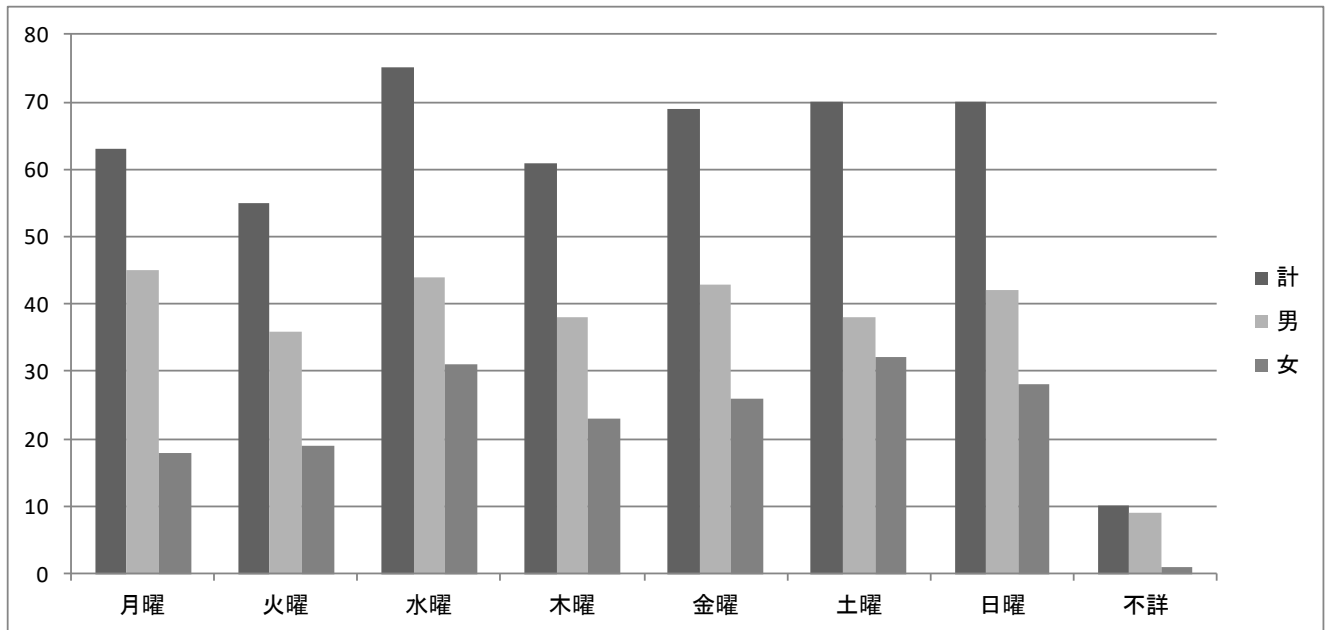
手段	首つり	服毒	練炭等	飛降り	飛込み	その他	不詳	計
計	247	10	20	127	13	56	0	473
男	162	1	16	73	11	32	0	295
女	85	9	4	54	2	24	0	178

12. 曜日別・男女別自殺者数（内閣府・警察庁統計）

曜日別で見ると、「水曜日」が75人（15.8%）と最も多く、次に、「土曜日」、「日曜日」、「金曜日」、がほぼ同数で多くなっている。

男女別で見ると、男性は各曜日ともほぼ均衡した値となっている。女性は「土曜日」と「水曜日」がほぼ同数で最も多く、次いで「日曜日」、「金曜日」が多くなっている。

平成30年 曜日別・男女別自殺者数（内閣府・警察庁統計）



曜日別・男女別自殺者数

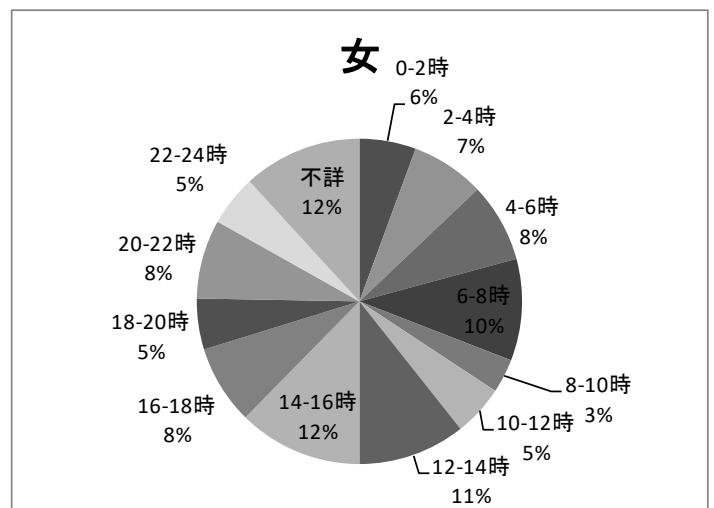
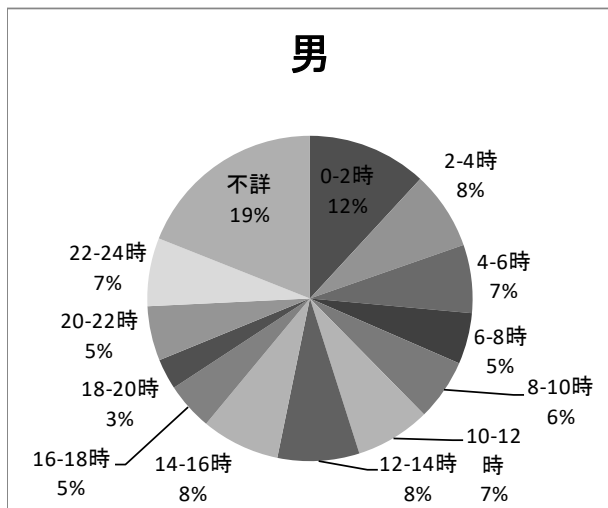
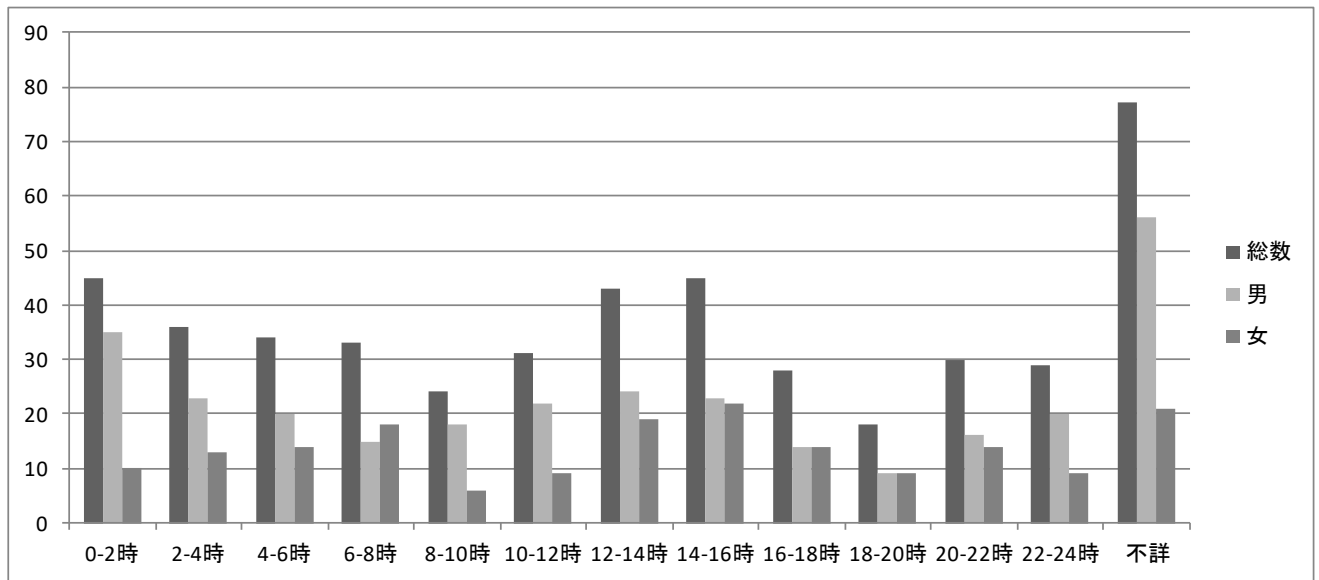
曜日	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜	不詳	計
計	63	55	75	61	69	70	70	10	473
男	45	36	44	38	43	38	42	9	295
女	18	19	31	23	26	32	28	1	178

1 3. 発見時間帯別・男女別自殺者数（内閣府・警察庁統計）

自殺者を発見した時間帯別でみると、「0-2時」と「14-16時」が45人(9.5%)と最も多く、ついで「12-14時」が43人(9.0%)となっているが、「8-10時」、「18-20時」を除いては多少の差はあるものの、全ての時間帯に均衡した結果となっている。

男女別でみると、男性は「0-2時」が35人(11.8%)、女性は「14-16時」が22人(12.3%)と最も多くなっている。

平成30年 発見時間帯別・男女別自殺者数(内閣府・警察庁統計)



時間帯別・男女別

時間帯	0-2時	2-4時	4-6時	6-8時	8-10時	10-12時	12-14時	14-16時	16-18時	18-20時	20-22時	22-24時	不詳	計
総数	45	36	34	33	24	31	43	45	28	18	30	29	77	473
男	35	23	20	15	18	22	24	23	14	9	16	20	56	295
女	10	13	14	18	6	9	19	22	14	9	14	9	21	178

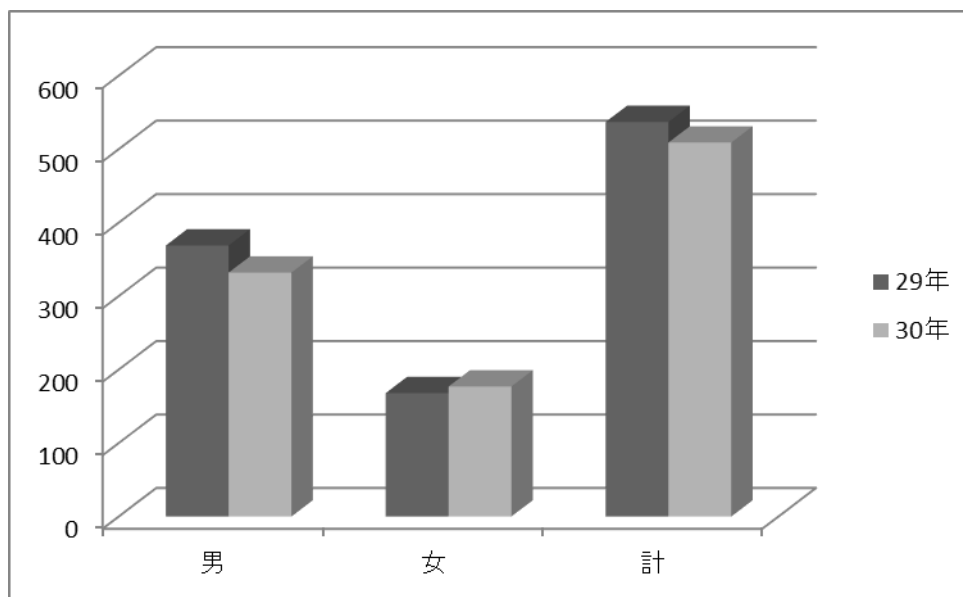
平成30年中と29年中における
大阪市の自殺の状況比較

平成30年中と29年中における大阪市の自殺の状況比較 目次

1. 自殺者数、男女別(人口動態統計)	1	ページ
2. 自殺死亡率、男女別(人口動態統計)	1	ページ
3. 年齢別自殺者数(内閣府・警察庁統計)	2	ページ
4. 原因別自殺者数(内閣府・警察庁統計)	2	ページ
5. 職業別自殺者数(内閣府・警察庁統計)	3	ページ
6. 既遂者における自殺未遂の有無別自殺者数(内閣府・警察庁統計)	3	ページ
7. 同居人の有無別自殺者数(内閣府・警察庁統計)	4	ページ
8. 場所別自殺者数(内閣府・警察庁統計)	4	ページ
9. 手段別自殺者数(内閣府・警察庁統計)	5	ページ
10. 曜日別自殺者数(内閣府・警察庁統計)	5	ページ
11. 発見時間帯別自殺者数(内閣府・警察庁統計)	6	ページ

平成30年中と29年中における大阪市の自殺の状況比較

1 自殺者数・男女別(30-29年 人口動態調査)

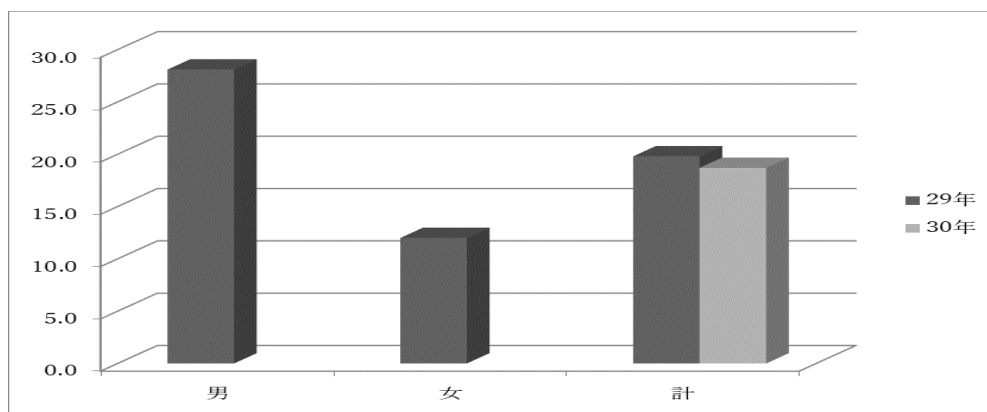


自殺者・男女別数 *前年比 28人の減。男性 37人減、女性9人増。

(*印は 30年と29年の比較についての記述。以下同じ)

年次別	男	女	計
30年	332	177	509
29年	369	168	537
21年	473	215	688

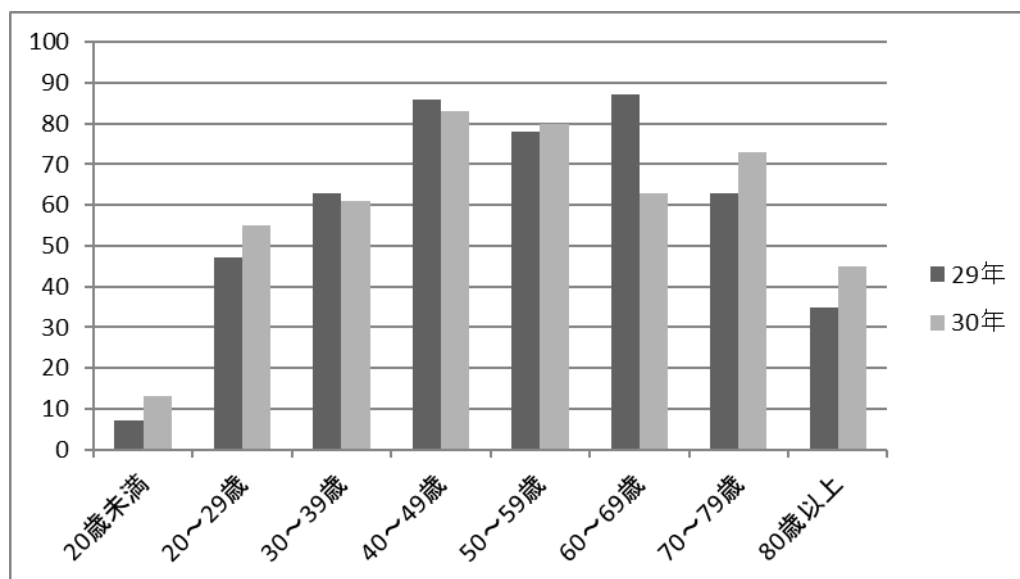
2 自殺死亡率・男女別(30-29年 人口動態調査)



自殺死亡率・男女別 *前年比 1.1 減少

年次別	男	女	計
30年			18.7
29年	28.1	12.0	19.8
21年	36.4	15.8	25.8

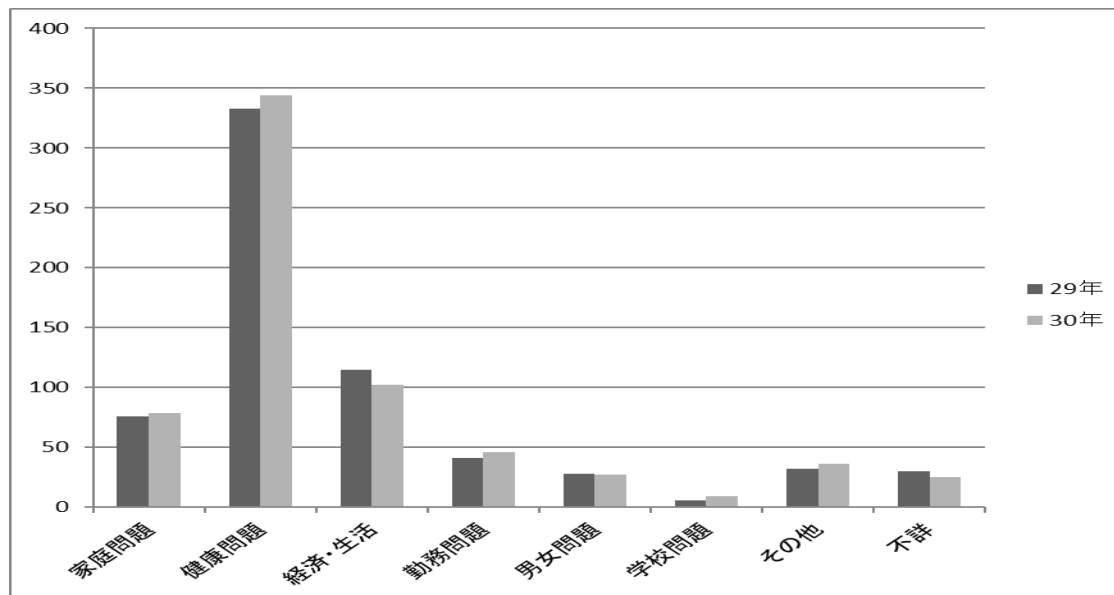
3 年齢別の自殺者数(30-29年 内閣府・警察庁統計)



年齢別の自殺者数 * 30~49歳、60~69歳で減少したものの全体では増加となった。

年次別	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計
30年	13	55	61	83	80	63	73	45	473
29年	7	47	63	86	78	87	63	35	466

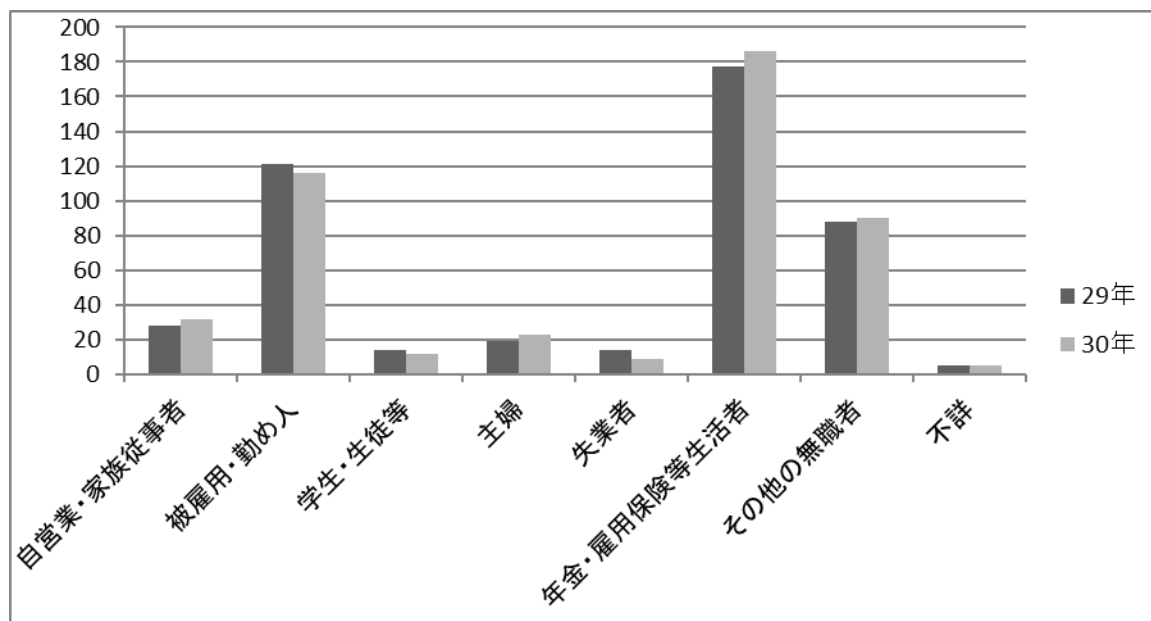
4 原因別(30-29年 内閣府・警察庁統計)



原因別 * ほぼ前年と同じ傾向。

年次別	家庭問題	健康問題	経済・生活	勤務問題	男女問題	学校問題	その他	不詳	計
30年	79	344	102	46	27	9	36	25	668
29年	76	333	115	41	28	6	32	30	661

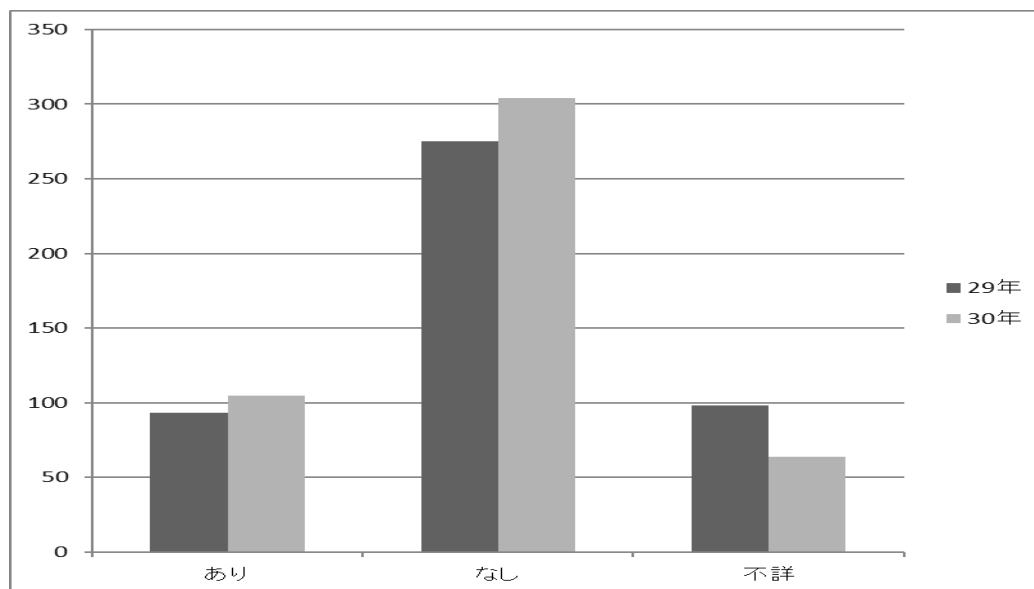
5 職業別の自殺者数(30-29 内閣府・警察庁統計)



職業別 * 被雇用・勤め人が減少、年金・雇用保険等生活者が増加。

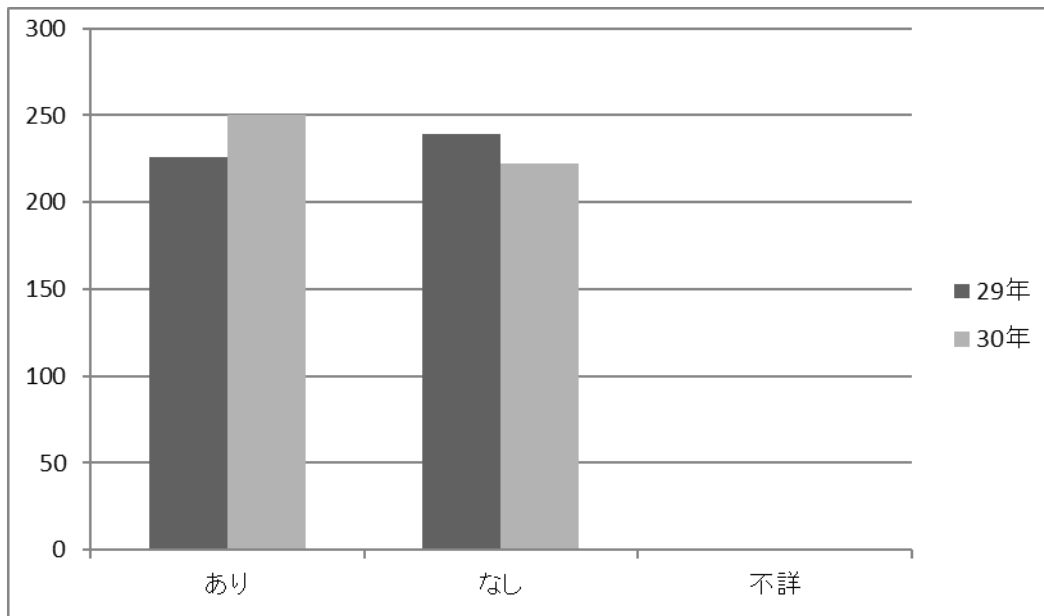
年次別	自営業・ 家族従事	被雇用・ 勤め人	学生・生 徒等	主婦	失業者	年金・雇 用保険等	その他の 無職者	不詳	計
30年	32	116	12	23	9	186	90	5	473
29年	28	121	14	19	14	177	88	5	466

6 既遂者における自殺未遂の有無別(30-29 内閣府・警察庁統計)



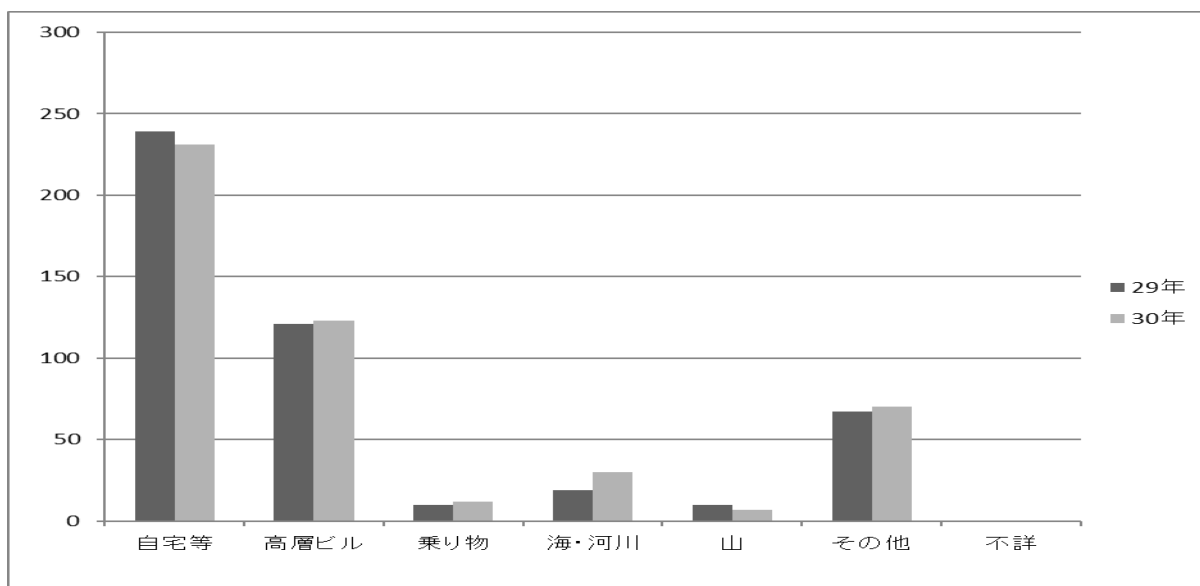
年次別	あり	なし	不詳	計
30年	105	304	64	473
29年	93	275	98	466

7 同居人の有無別(30-29 内閣府・警察庁統計)



年次別	あり	なし	不詳	計
30年	250	222	1	473
29年	226	239	1	466

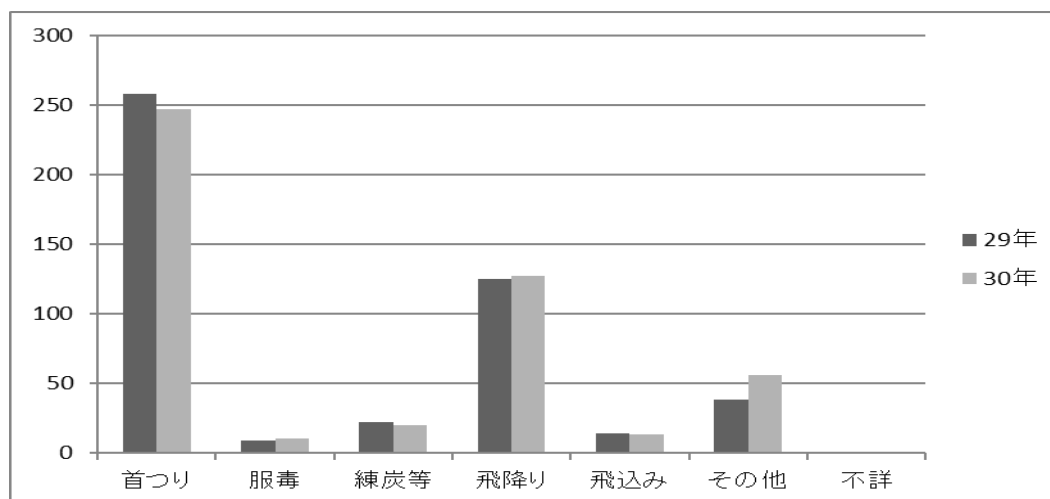
8 場所別自殺者数(30-29 内閣府・警察庁統計)



場所別 * 例年、自宅等が最も高い。

年次別	自宅等	高層ビル	乗り物	海・河川	山	その他	不詳	計
30年	231	123	12	30	7	70	0	473
29年	239	121	10	19	10	67	0	466

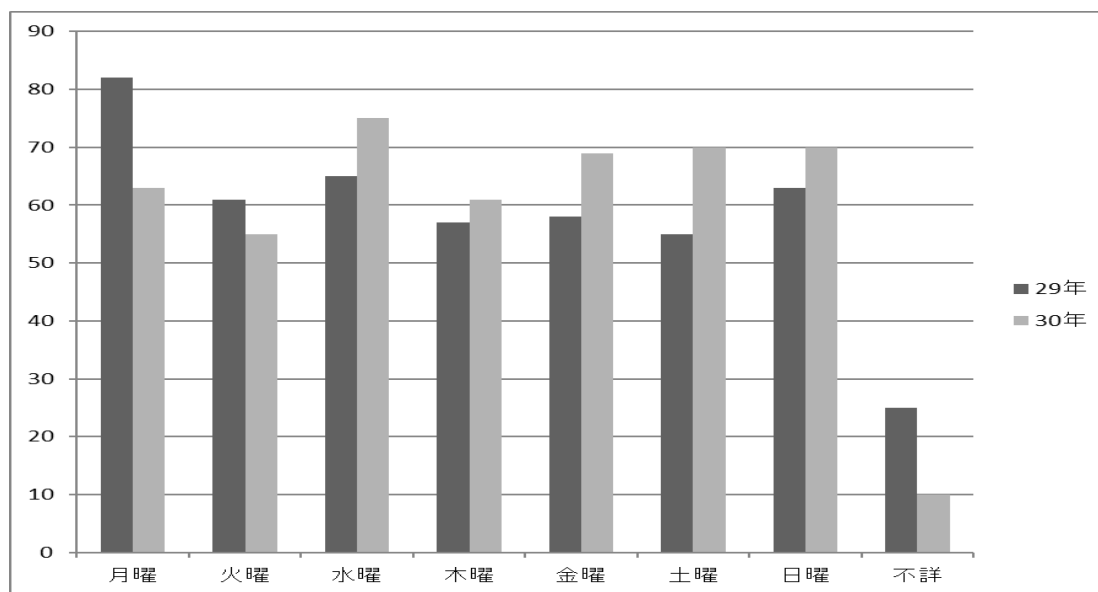
9 手段別自殺者数(30-29 内閣府・警察庁統計)



手段別 * 例年、首つりと飛び降りが多い。

年次別	首つり	服毒	練炭等	飛び降り	飛び込み	その他	不詳	計
30年	247	10	20	127	13	56	0	473
29年	258	9	22	125	14	38	0	466

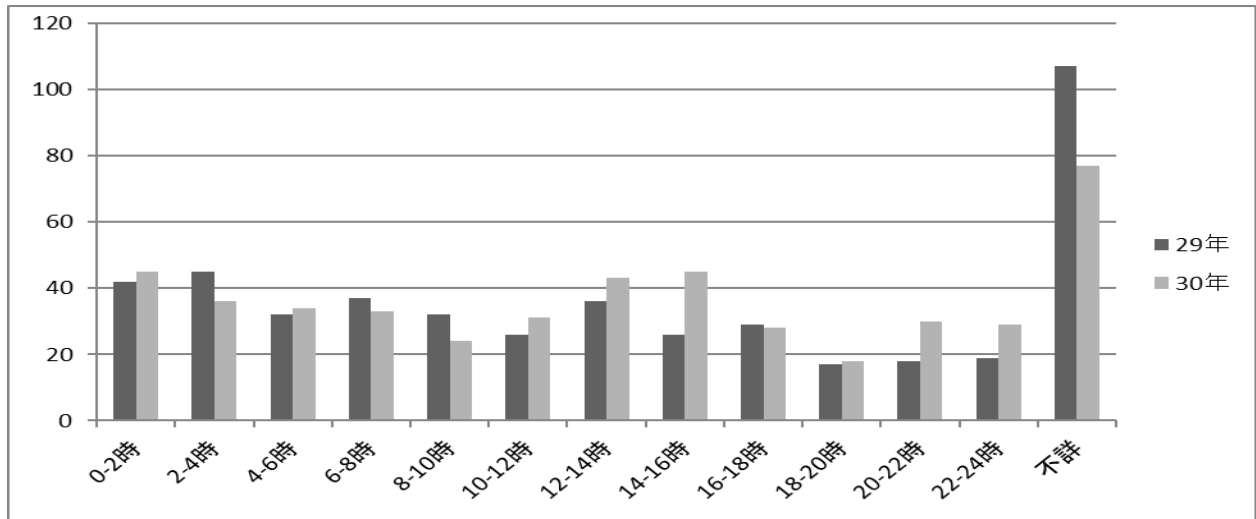
10. 曜日別自殺者数(30-29 内閣府・警察庁統計)



曜日別 * 例年、月曜日が多いが平成30年は減少し日曜日が増加傾向にある。

年次別	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜	不詳	計
30年	63	55	75	61	69	70	70	10	473
29年	82	61	65	57	58	55	63	25	466

11. 発見時間帯別自殺者数(30-29 内閣府・警察庁統計)



発見時間帯別 * 12~16時が増加している。

年次別	0-2時	2-4時	4-6時	6-8時	8-10時	10-12時	12-14時	14-16時	16-18時	18-20時	20-22時	22-24時	不詳	計
30年	45	36	34	33	24	31	43	45	28	18	30	29	77	473
29年	42	45	32	37	32	26	36	26	29	17	18	19	107	466

平成9年～30年 都道府県政令指定都市の自殺死亡率の推移【人口動態統計】

Table showing the trend of suicide mortality rates in designated cities from Heisei 9 to Heisei 30. The table is organized by year (平成9年 to 平成30年) in columns and city/region (e.g., 秋田, 新潟, 山梨, etc.) in rows. Each cell contains a numerical value representing the suicide mortality rate. Some cells are highlighted in pink or blue to indicate specific data points or trends.